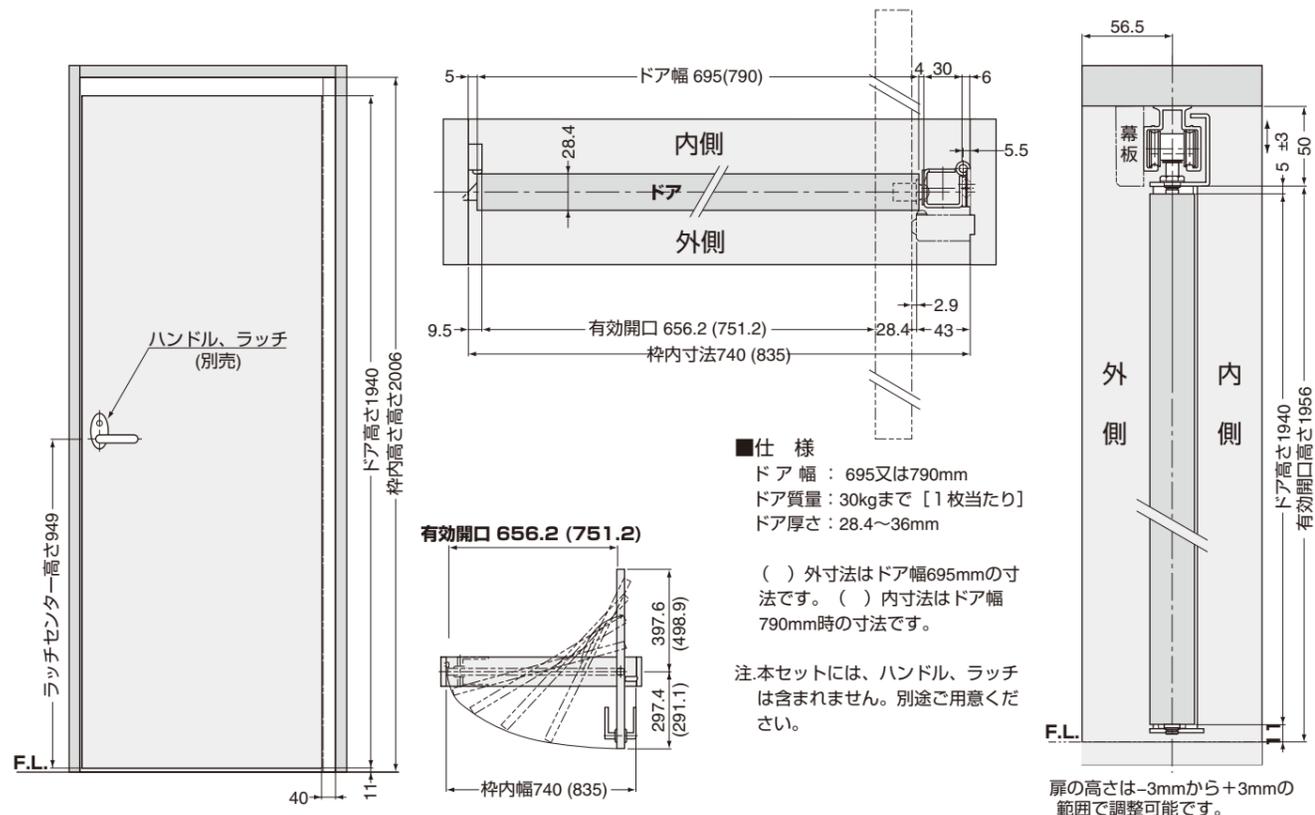


ドアの納まり寸法 (本図は右開きを示します。左開きは、勝手違いとなります。)



# スライド回転ドアSKD型 (一般住宅室内専用)取付説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
本製品を正しく安全にご使用いただくため、この説明書をよくお読みのうえ、説明にしたがってお間違いのない取付作業を行ってください。  
また取付後は、ご使用になる方へ本書をお渡しください。

**警告** この表示を無視、あるいは以下の注意事項をお守りいただけなかった場合、破損等により死亡や大けがなどの人身事故の原因となる恐れがあります。

**注意** この表示を無視、あるいは以下の注意事項をお守りいただけなかった場合、正しい組み立てができないばかりでなく、事故等によりけがをしたり家財に損害を与える恐れがあります。

## ■施工上の注意

### ⚠注意

- 指定寸法、仕様、各部の水平、垂直を必ずお守りください。枠、ドアの反り、傾きねじれは故障や、本来の動きに影響が出る恐れがあります。
- 一般住宅の室内用ドアとしてお使いください。他の用途へのご使用はおやめください。
- 丁番は、施工後の調整ができないため、枠の調整はしっかり行ってください。
- 各部の取付けは必ず、手動ドライバーをご使用ください。

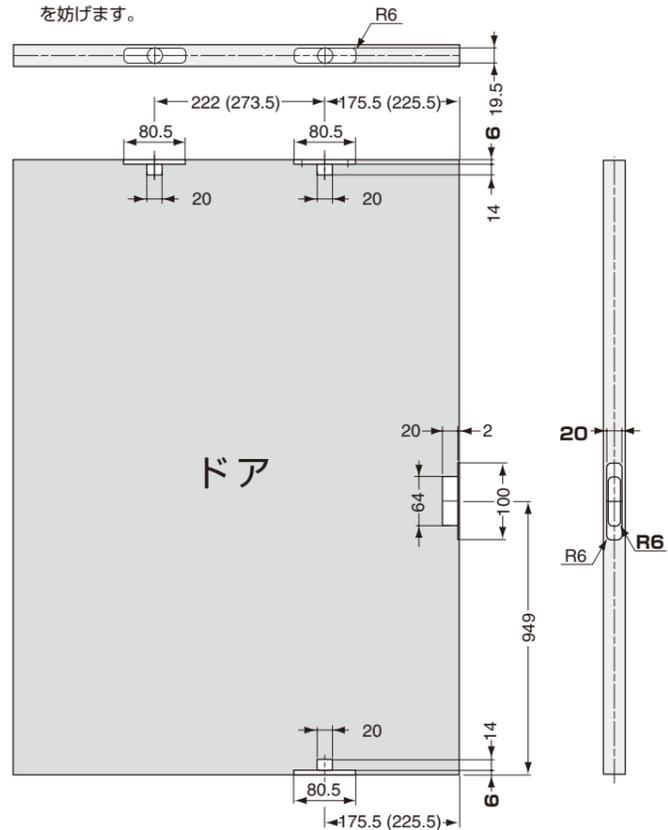
## ■使用上の注意

### ⚠注意

- ドアの開閉は静かに行ってください。乱暴に扱うとドアを破損したり、脱落する恐れがあります。
- ドアにぶつかったり、もたれたりしないでください。ドアを破損したり、脱落する恐れがあります。
- ドアに指を挟まないよう、引手を持って正しく操作してください。特に小さなお子様には十分ご注意ください。
- ストーブ等の熱源を近付けないでください。ドアが反り、製品本来の動きを妨げる恐れがあります。

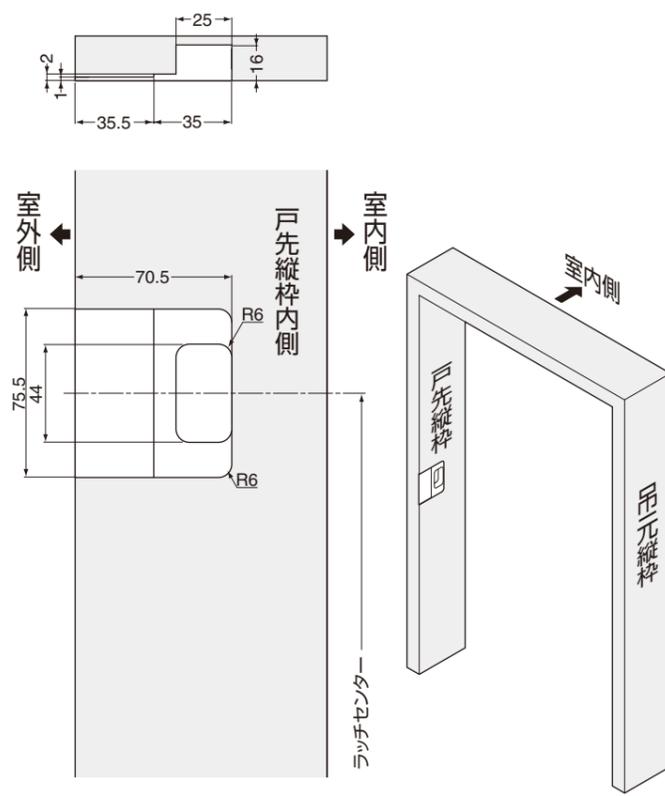
加工寸法及び取付位置 (本図は右開きを示します。左開きは、勝手違いとなります。)

注。( ) 外寸法はドア幅695mmの寸法です。( ) 内寸法はドア幅790mm時の寸法です。加工は必ず正確に行ってください。誤った加工は製品本来の動きを妨げます。



## 専用ストライク加工寸法

戸先縦枠内側の指定位置に上記の加工を行います。



本製品に関するご質問・ご相談は、お買い求めいただいた販売店、または下記の窓口にお問い合わせください。

アーキテクトサポート室 電話番号 **03 (3864) 1122**

受付時間 月~金 9:00~17:30 (年末・年始・夏季休暇等は除く)

FAX 03 (3863) 6875

E-mail: support@sugatsune.co.jp

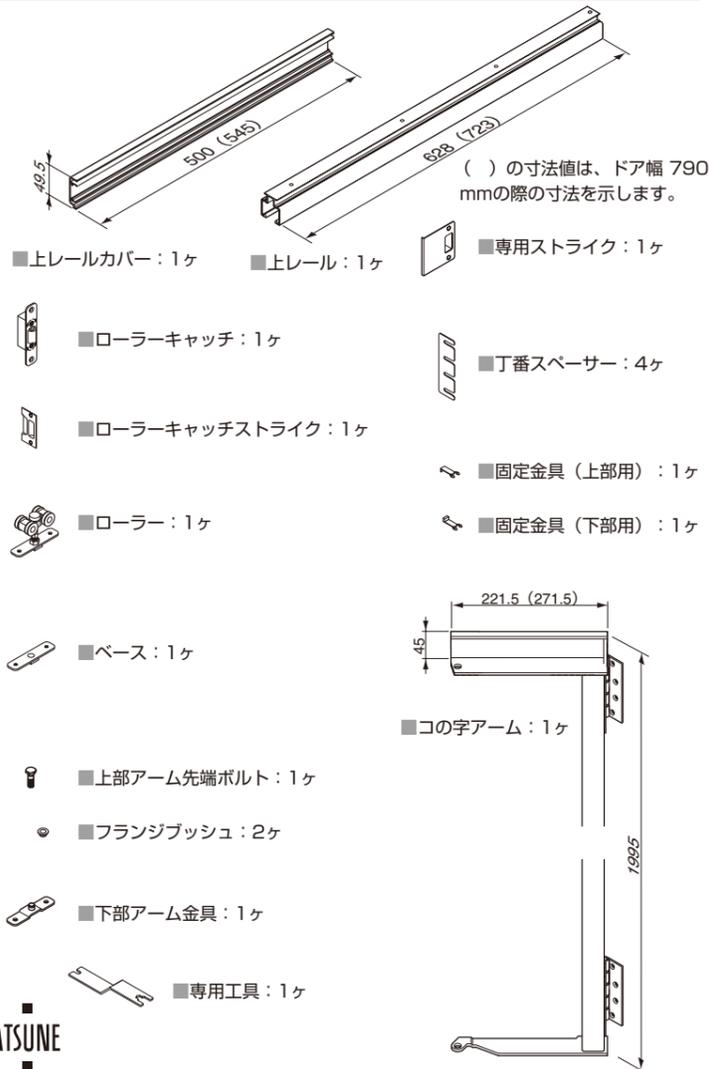
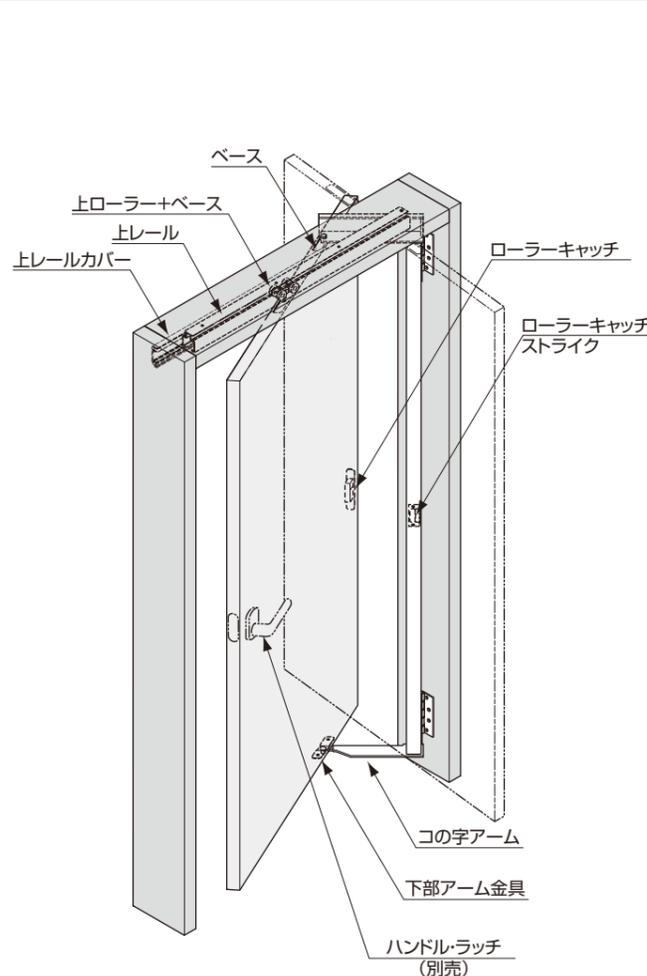
東京都千代田区岩本町2-5-10 〒101-0032

**SUGATSUNE** スガツネ工業  
LAMP印の機能&デザイン金物メーカー

ISO 9001 (JSAQ384)・ISO 14001 (JSAE597) 審査登録  
※ISO9001:国内各拠点 ※ISO14001:千葉事業部 千葉工場 および 物流事業部 物流センター  
http://www.sugatsune.co.jp/

2013.08 PRINTED IN JAPAN 0156-5

## 部品構成

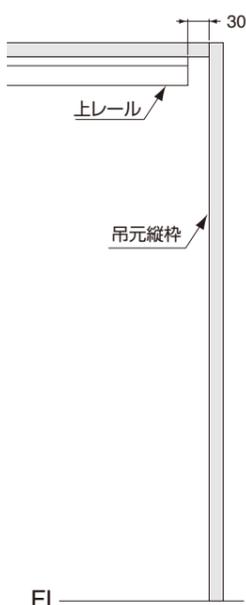
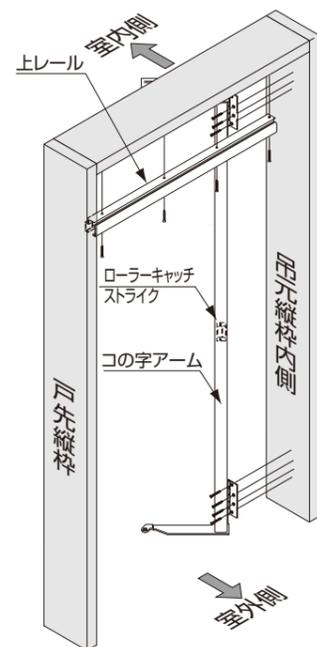


## ドア枠への取り付け (本図は右開きを示します。左開きは、勝手違いとなります。)

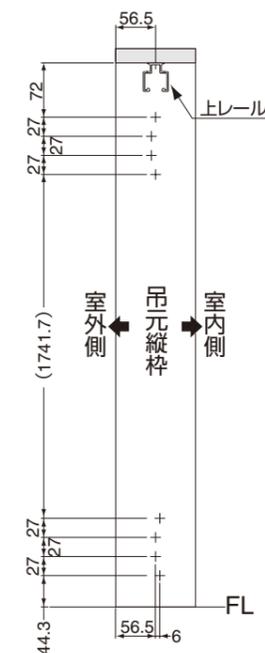
- ・ドア枠の指定位置に、レールを十字穴付き4.8×25なベ木ねじ4本で取り付けます。吊元側の枠内側からレールをの端を30mm離して取り付けます。
- ・コの字アームの丁番を、吊元縦枠内側の指定位置に取り付けます。

### ■上レール取付位置

本図は、室外側から見ています。

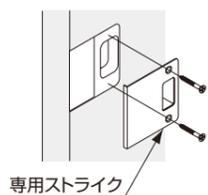


### ■丁番取付位置



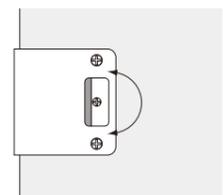
### [専用ストライクの取り付け]

・戸先側の縦枠内側の加工部に、専用ストライクを十字穴付き3.5×20皿木ねじ2本で固定します。



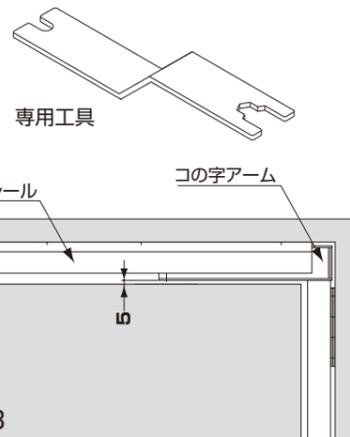
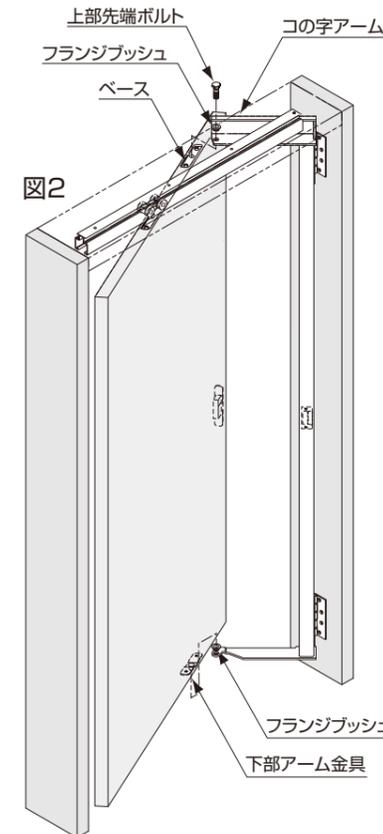
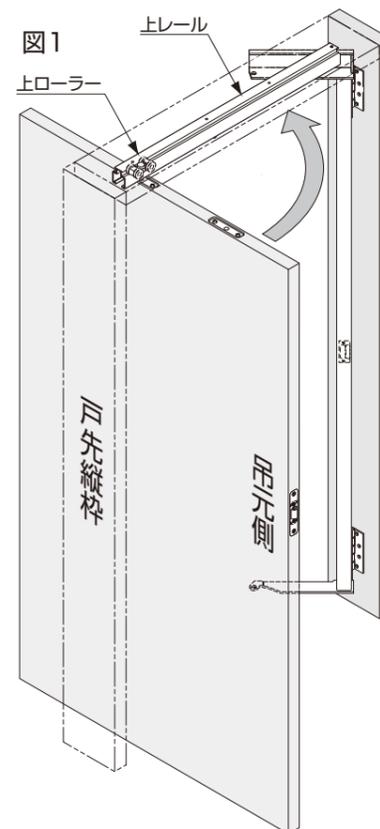
### [専用ストライクの調整]

・専用ストライク凹みの中にラッチの掛かり代を調整できるねじがあります。ねじを時計回りに回すと、■部が右に移動します。反時計回りに回すと左に動きます。



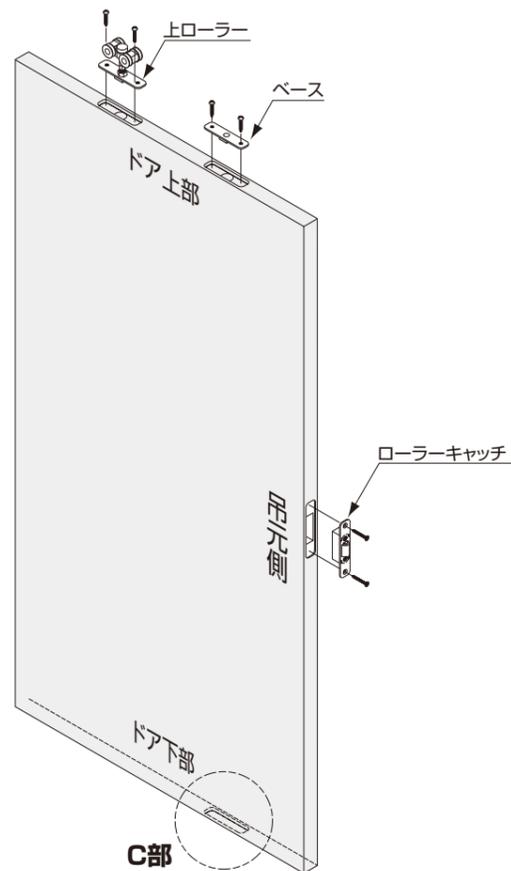
## 手順1. ドアの吊り込み

- ・ドアを若干傾けながら、上レール戸先側の切欠きから上ローラーを入れます。(図1参照)
- ・コの字アームの上下の穴にフランジブッシュ各1個をはめ込みます。(図2参照)
- ・上ローラーの軸を中心にドアを回転させ、下部アーム金具の軸をコの字アーム穴に入れ込みます。
- ・コの字アームの上穴とドアのベース穴を合わせ、専用工具を使い上部先端ボルトを締付けます。上部アームの下端とドア上面のすき間は、5mmに設定します。(図3参照)
- ・ドアを動かし、開閉動作がスムーズであるか、擦れる音や異常な動きが無いか確認してください。



## ドアへの取り付け

- ・ドア上部の加工部に上ローラー、ベースを十字穴付き4.8×25丸なベ木ねじ4本で固定します。
- ・ドア下の加工部に下部アーム金具を、十字穴付き4.8×25なベ木ねじ4本で固定します。
- ・ドアの吊元側の加工部にローラーキャッチを十字穴付き3.8×20皿木ねじ2本で取り付けます。



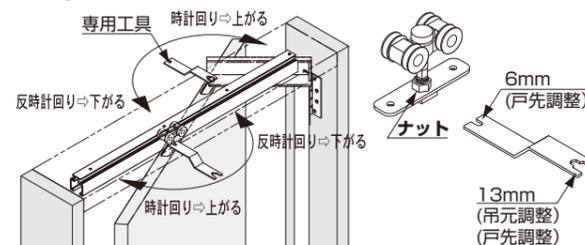
## 手順2. 各部の調整

### ■ドアの高さ、傾き調整

専用工具を使いドアの傾き、高さ調整を行います。

- [ドアの上下調整] (調整可能範囲±3mm)
- ・戸先側を上下に調整する場合、上ローラー軸のナットを専用工具 (13mm) で緩め、更に専用工具 (6mm) を使います。時計回りに回すとドアは上がり、反時計回りでは下がります。
- ・吊元側を上下に調整する場合、専用工具 (13mm) を使います。時計回りに回すとドアは上がり、反時計回りでは下がります。

注. ドアが上レールと平行に吊り込まれていることを確認してください。上ローラーの浮きまたは、上部アーム先端のボルトが浮かないこと。

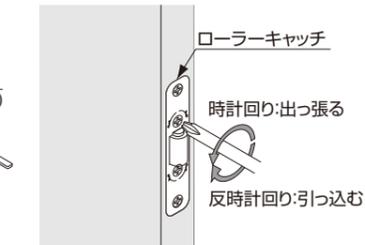


### ■ドアの閉り具合調整

ドアの閉り具合を調整する場合ローラーキャッチの上下の調整ねじを回し調整します。

[ドアの閉りが固い場合]  
反時計回りに回しローラーを引っ込めます。引っ込めることにより、ドアの閉りが柔らかくなります。

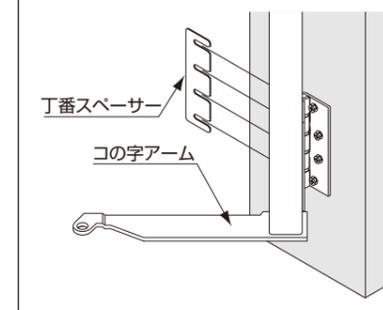
[ドアの閉りが軽すぎ、戻ってしまう場合]  
時計回りに回すとローラーが出っ張ります。出っ張ることにより、キャッチが効くようになります。



### ■戸先枠とドアのすき間調整

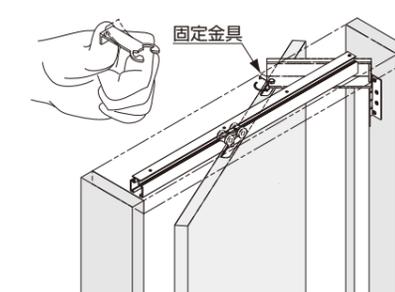
必要に応じ、丁番スペーサーを用いてすき間の調整を行います。

- ・手順1を逆手順でドアを外します。
- ・コの字アームと縦枠を固定している丁番のねじを上下共緩めます。(下図参照)
- ・丁番と縦枠の間に、丁番スペーサーを差込みます。スペーサーの厚みは1mmです。+2mmまで調整可能です。

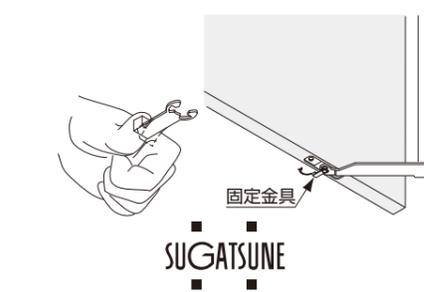


## 手順3. 固定金具、上レールカバーの取り付け

- ・下図の向きで、固定金具を先端ボルトの軸溝に奥までしっかりと押し込みます。
- ・入れ込んだ後、フランジ部分を指で押し上げ加工穴に入れ込みます。



- ・下図のような向きで、固定金具を下部アーム金具の軸溝に奥までしっかりと押し込みます。
- ・入れ込んだ後、フランジ部分を指で押し下げ加工穴に入れ込みます。



- ・上レールに上レールカバーを戸先縦枠にすき間が無いように合わせてはめ込みます。

